

BR1200 ライトキャッシュの設定に関する注意事項

平素より格別のご高配を賜り、深謝申し上げます。
エントリークラスディスクアレイ装置 BR1200 において、ライトキャッシュの設定に関する注意事項について以下にお知らせ致します。
該当する設定の場合は、お手数をお掛けしますが設定を変更して運用くださいますようお願い申し上げます。

- 記 -

1. 現象

ライトキャッシュの設定が以下の誤った設定になっている場合、設定変更の必要があります。

「Write cache: Enabled」、「Write cache with mirroring: Disabled」

デュアルコントローラ構成でライトキャッシュが有効になっている場合には、キャッシュミラー (Write cache with mirroring) の設定を有効 (Enabled) にする必要があります。BR1200 の製品添付の「SANtricity ユーティリティガイド」においても、BR1200 のライトキャッシュを有効に設定する場合には、キャッシュミラーの設定を有効にするようご案内しています。

しかし、この設定を有効にせずに運用を行ってしまった場合には、コントローラ間でキャッシュデータがミラーされないため、片系コントローラ障害などでライトキャッシュ内のデータが消失するおそれがあります。

2. 対象装置

対象は BR1200 基本筐体のデュアルコントローラ構成の全装置が対象になります。

対象モデル名	対象形名	出荷時期
BR1200 基本筐体	G*0BR120-*****	2010年10月20日 ~

3. 影響範囲

< 誤った設定で運用した場合の影響 >

- ・シングルコントローラ構成の場合は、キャッシュミラー機能が動作しないため、影響ありません。
- ・デュアルコントローラ構成でライトキャッシュが有効であり、キャッシュミラーの設定が無効の場合には、コントローラ間でキャッシュデータがミラーされません。そのため、片系コントローラ障害などが起こるとライトキャッシュ内のデータが消失し、データ破損を引き起こします。

4. お願い事項

- ・デュアルコントローラ構成の場合には、ライトキャッシュの設定とキャッシュミラーの設定を見直して下さい。ライトキャッシュの設定が有効であり、キャッシュミラーの設定が無効の場合には、キャッシュミラーの設定を有効にして下さい。
- ライトキャッシュの設定は、各 Volume 単位の設定であり、BR1200 内の全 Volume で見直しを行う必要があります。

見直し方法は、[\[別紙\]ライトキャッシュ設定の確認と設定変更手順](#) を参照して下さい。

今後とも品質向上に努めて参りますので、対応にご協力賜りたく重ねてお願い申し上げます。

以上

ライトキャッシュ設定の確認と設定変更手順

ライトキャッシュ設定の確認手順について記載します。

[実行環境]

本手順では、以下の条件を満たす必要があります。

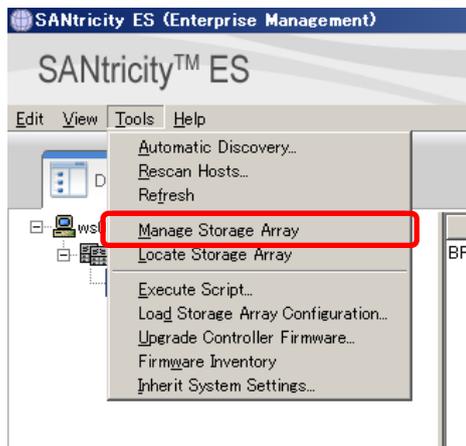
- ・管理 PC に SANtricity[®] がインストールされていること
- ・管理 PC と確認対象の BR1200 が LAN ケーブルで接続されていること

1. 管理対象の BR1200 (Storage Array) を選択します。
2. メニューより、「Tools」 - 「Manage Storage Array」をクリックします。

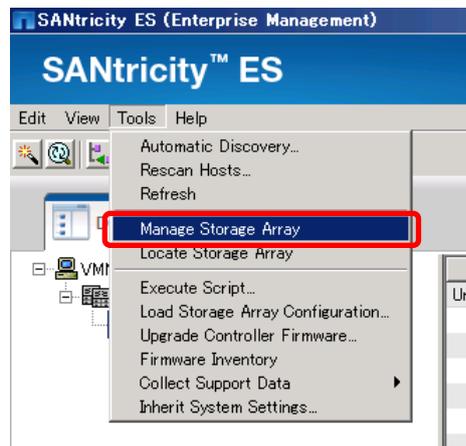
Controller Firmware のバージョンによって、手順が異なります。

バージョンの確認方法は、製品添付の SANtricity ユーティリティガイドを参照下さい。

[Controller Firmware が 07.77.xx.xx 以下の場合]

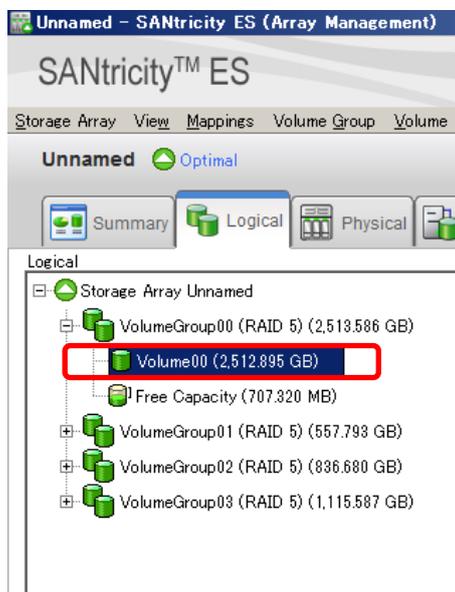


[Controller Firmware が 07.83.xx.xx 以上の場合]

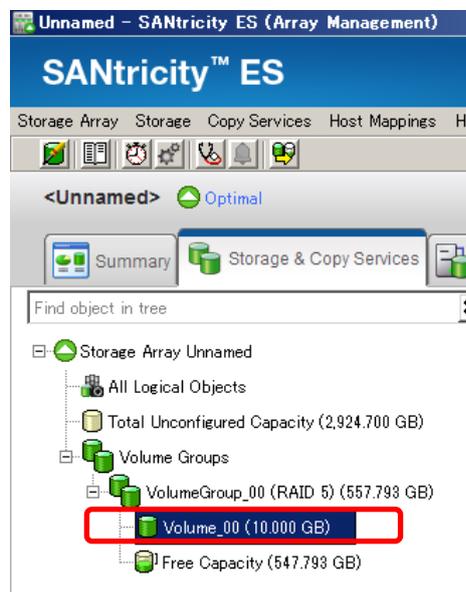


3. 「Storage & Copy Services」タブをクリックし、作成済の任意の Volume を選択します。

[Controller Firmware が 07.77.xx.xx 以下の場合]



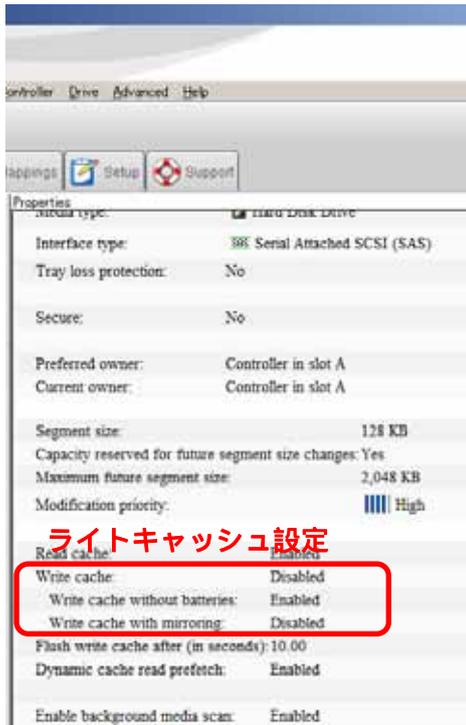
[Controller Firmware が 07.83.xx.xx 以上の場合]



4. 画面右側のプロパティ画面のスクロールを移動し、ライトキャッシュ設定を表示します。

[Controller Firmware が 07.77.xx.xx 以下の場合]

[Controller Firmware が 07.83.xx.xx 以上の場合]



5. 「Write cache with mirroring」が “Enabled” であることを確認します。

「Write cache with mirroring」が “Enabled” の場合は、手順 3. に戻り次の Volume の設定を確認して下さい。

「Write cache with mirroring」が “Disabled” の場合は、“Enabled”に変更する必要があります。
手順 6. に進んでください。

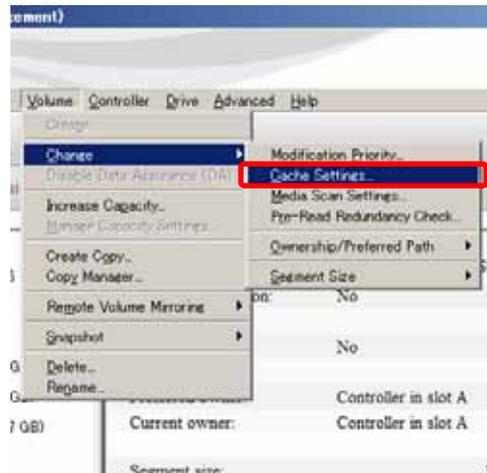
Read cache:	Enabled
Write cache:	Enabled
Write cache without batteries:	Enabled
Write cache with mirroring:	Enabled
Flush write cache after (in seconds):	10.00
Dynamic cache read prefetch:	Enabled

6. メニューより、「Cache Settings」をクリックします。

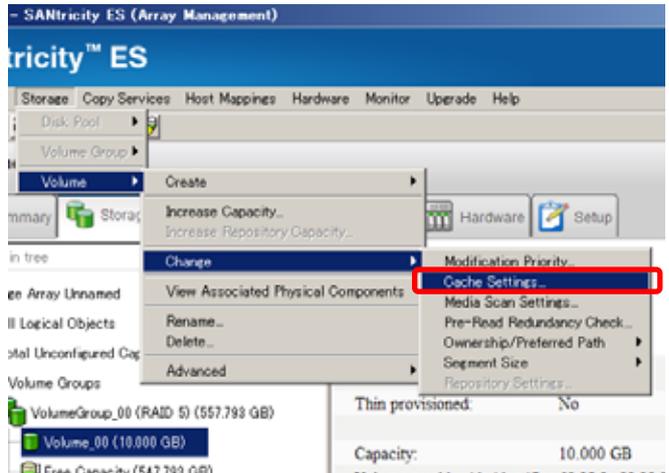
Controller Firmware: 07.77.xx.xx 以下の場合、「Volume」 - 「Change」 - 「Cache Settings」

Controller Firmware: 07.83.xx.xx 以上の場合、「Storage」 - 「Volume」 - 「Change」 - 「Cache Settings」

[Controller Firmware が 07.77.xx.xx 以下の場合]



[Controller Firmware が 07.83.xx.xx 以上の場合]



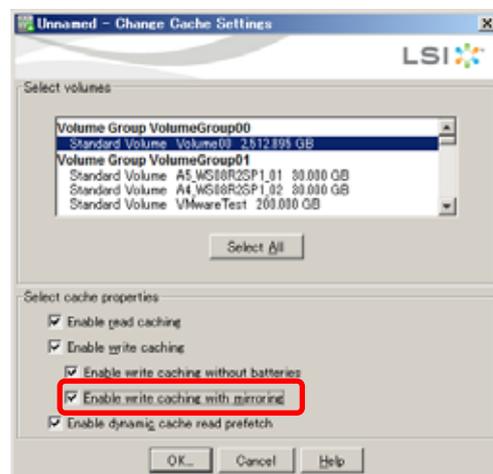
7. 「Select volumes」からライトキャッシュの設定を変更する Volume を全て選択し、Cache Properties から「Enable write caching with mirroring」の設定を変更します。変更したら[OK] ボタンをクリックします。



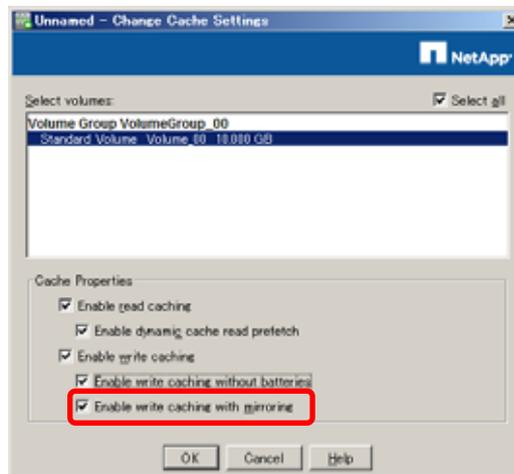
Volume を複数選択する場合は、「Ctrl」キーを押しながら選択します。

全 Volume を変更する場合は、「Select All」を使用します。

[Controller Firmware が 07.77.xx.xx 以下の場合]



[Controller Firmware が 07.83.xx.xx 以上の場合]



8. 「Write cache with mirroring」が “Enabled” に変更されていることを確認します。

Read cache:	Enabled
Write cache:	Enabled
Write cache without batteries:	Enabled
Write cache with mirroring:	Enabled
Flush write cache after (in seconds):	10.00
Dynamic cache read prefetch:	Enabled

以上で、ライトキャッシュ設定の確認手順は完了です。